

空き家・空き地の適正管理は？

町長

課題を研究する



岡田 聡 議員

【岡田】 少子高齢化などによって町内で空き家・空き地が増え、管理もされず放置されている。周辺への迷惑・防犯・防災の面からも

問題であり、景観をそこねている。安心・安全な地域を守るためにも、適正な管理施策が必要である。

老朽建物の撤去命令

や強制撤去などの措置が取れる管理条例制定の検討は。

【町長】 全国の空き家率13・1%に対し、鳥取県は15・4%と高い。「鳥取県空き家対策協議会」が昨年設置さ

れた。私的財産の処分に行政がどこまで関与できるかなど、課題はあるが研究する。

【岡田】 国の支援制度を活用してはどうか。

【町長】 町内で約300戸の空き家のうち、空き家・空き地バンクへの登録は十数件である。県の補助を受けてマッチング事業を行う。



さらなる登録を

防災教育の充実は？

教育委員長

取り組みを積み重ねていく

【岡田】 身回りの危険について考え、自分の命は自分で守る教育をしてはどうか。

【教育委員長】 各学校とも前向きに取り組もうとしている。

子どもたちに作らせてはどうか。

【教育委員長】 大山西小学校では、4年生の指導計画で実施を予定している。

【岡田】 避難3原則「想定を信じるな・最善を尽くす・率先避難者になれ」をどう考えるか。

【教育委員長】 状況に応じてみずから判断し、行動する力を身につける工夫を各学校で取り入れている。



被害を受けた防災庁舎(南三陸町)